

事業主推薦制度の活用事例

高校時代は機械、入学は電気

私は青森県立弘前工業高校の機械科を卒業しました。高校卒業後は東和電機工業に就職しましたが、内定時点で会社から能開大の青森校を紹介して貰いました。

技術者を育てるために、社員として勉強してきてほしいと事業主推薦をしていただき、能開大に入学しました。機械と電気の両方の知識を身につけるため、電気エネルギー制御科を選びました。

東和電機工業株式会社

佐藤 万季人 (26) 歳

東北能開大青森校

専門課程 電気エネルギー制御科

(平成29年度修了)

東北能開大

応用課程 生産電気システム技術科

(令和元年度修了)



3科合同で取り組んだ開発課題

高校が機械科出身のため、入学時は授業の内容についていけるか不安でした。初めて学ぶ内容だらけでしたが、基礎から学べるためわかりやすく、電気工事士などの資格取得のための授業もあるため、資格取得と共に電気の知識を身に付けることが出来ました。

応用課程ではより専門的な知識を学びながら、機械科や電子科とそれぞれの専門分野を活かし行う開発課題を行いました。一番大変な授業ですが、やりがいもあり楽しい授業だったと思います。

高校と大学校での経験を活かしています

今は配電盤の設計業務を行っています。盤の構造検討や加工方法は高校で学んだ機械科の知識、配線や制御は大学校で学んだ電気の知識を使っています。

学んだことすべてを活かして仕事を行っています。

事業主推薦で大学校に行き、電気の知識を学ぶ事が出来たのとても良かったと思っています。

上司の方のコメント

入社後、製造部門や設計部門、管理部門と様々な部署で経験を積んできました。

どの部署においても、新しい知識・スキルの習得に研鑽し、常に前向きな姿勢を持っています。

現在は技術部門で業務に当たっていますが、どんな業務も自分事として主体的にやり遂げ、後輩社員への指導や業務調整においてもリーダーシップを発揮しています。

今後は今以上に組織の中心となって、様々な課題解決に邁進していける人材になってほしいと期待しています。

東和電機工業株式会社

【事業概要】

配電制御システム(配電盤、分電盤、制御盤、監視盤等)メーカーである弊社は、カスタムメーカーであり、中核事業場である青森工場では、設計・钣金・塗装・組立と一貫生産体制で、多様化するお客様の要望を聞きながら、一品一品オーダーメイドで製品を手がけています。

【主要製品など】

配電盤・制御盤・監視盤・操作盤・分電盤・開閉器盤・端子盤

